小樽で学んだ観光客の「生の声」を、余市の旅行プランへ！

９月４日（金）、１年生が小樽市内で見学学習を行いました。小樽商科大学での「観光学」講義では、地域の魅力やまちづくりを多角的に見る大切さを学びました。

現地での意識調査では、緊張しながらも２次元コード付き用紙を配付。観光客との会話を通して人の温かさに触れながら、英語・中国語を含む143件もの回答を得ることができました。



外国人の方にも積極的にアンケート回答をお願いする１年生

【生徒の感想より（抜粋）】

「人口減少と観光の役割を学び、自分の地域の人々をもっと大切にしたいと思いました。」

「観光が日本を支える重要な柱だと分かり、
小樽商科大学への訪問も含めてとても楽しい学びになりました。」

自分の目で、耳で確かめた「余市の今」

９月25日（金）に３年生が先月実施した「まちづくり取材会」の情報をもとに、余市町内でのフィールドワークを行いました。町の魅力や課題を実際に「見て・聞いて・確かめる」ことで、現状への理解を深めることができました。

10月には、２年生においても余市町内で農業に関するフィールドワークを実施します。

【お世話になった皆様】

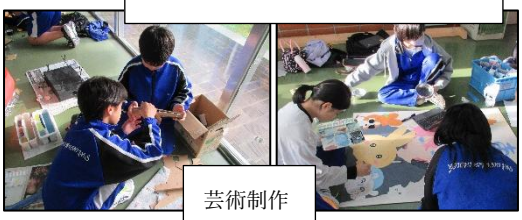
ニッカウヰスキー余市蒸溜所　余市町商工会議所　大川小学校　エビジン　余市町役場　JA よいち　キッズルームアップル　柿崎商店　　フルーツ・シャトーよいち　エルラプラザ

生徒会役員選挙 ～目指せ「自分たちの手による学校づくり」～

演説会では、「このような学校をつくりたい」「新しいことに挑戦したい」という強い思いを持った立候補者たちが堂々と自らの考えを語り、演説を聞く生徒たちも「自分たちの学校の未来」を真剣に考えながら耳を傾けていました。東中の生徒会役員選挙では、主権者教育の一環として、実際の選挙で使用されている投票箱や記載台を使用しています。本物の道具を使って投票することで、選挙をより身近なものとして捉え、自分の意思で一票を投じることの大切さを学ぶ機会となりました。今回の経験を通して、生徒会活動への関心を高め、自分たちの学校生活をよりよくしていこうとする意識につながることを期待しています。



本物の記載台・投票箱を間近に緊張気味の１年生



芸術制作



研究発表



ステージ発表

それぞれの個性が光る東中祭へ

今週末に迫った東中祭に向けて、子どもたちは、それぞれの興味や関心に応じて、作品づくりや発表の準備を進めています。本校の文化祭の大きな特徴は、一人一人が自分の興味や関心に応じて自由に部門を選択でき、一人でもグループでも活動できることです。「芸術制作」では、立体・平面を問わず、自由な発想で作品を制作・展示し、「研究発表」では、自分が調べたことや研究したことを、スライドや動画など、自分に合った方法でまとめています。「ステージ発表」では、創作劇やダンス、歌など、それぞれの表現方法で自分の思いを伝えます。そのほか、合唱や文化部の作品展示、吹奏楽部の演奏、生徒会企画など、盛りだくさんの内容となっています。子どもたちが自分の「好き」や「得意」を生かし、工夫を凝らして取り組んだ、個性あふれる作品や発表を、ぜひご来校いただき、ご覧いただけましたら幸いです。

東中祭 10月2日（金）

※８：２５　保護者入口開場

午前　開祭式　ステージ発表
　　吹奏楽部演奏　展示見学

午後　合唱発表　閉祭式